

2025年8月5日実施



Smart Science Seminar 2025

職業紹介冊子

— 職業を知って、未来の自分を想像する —



四天王寺大学
みらい科学教育推進室

目次

まえがき	・・・	01
------	-----	----

《職業紹介》

1. 小学校	吹田市立山手小学校 西本朱里	・・・	02
2. 中学校数学	東大阪市立孔舎衛中学校 田部慎之佑	・・・	04
	河内長野市立千代田中学校 森瑞樹(講演協力)		
3. 中学校理科	東大阪市立繩手北中学校 倉田季子	・・・	06
4. 高等学校数学	大阪府立富田林高等学校 高倉順信	・・・	08
5. 高等学校理科	大阪府立貝塚高等学校 角谷萌茄	・・・	10
6. 研究所	産業技術総合研究所 福間早紀	・・・	12
7. 企業	アストラゼネカ株式会社 瀬野裕子	・・・	14
8. 企業	株式会社島津製作所 松本龍之介	・・・	16
9. 企業	株式会社 Mizkan 上高侑子	・・・	18

あとがき	・・・	20
------	-----	----

まえがき

このたび、四天王寺大学「スマート・サイエンス・セミナー」では、教員・研究所・企業の皆さまを講師としてお迎えし、中高生が“未来の自分”を思い描くことができる「合同職業紹介と交流会」を開催いたしました。

当日は、教育の現場で子どもたちと向き合っておられる先生方、最先端の研究に取り組む研究者の方々、そして社会の課題に挑む企業の皆さまから、職業の魅力や働くことの喜び、理系分野の可能性について直接お話を伺えました。中高生の皆さんが熱心に耳を傾け、たくさんの質問を投げかけ、目を輝かせている姿がとても印象的でした。

スマートサイエンスセミナーは、未来の理系人材を地域とともに育む取組として継続してきました。その流れの中で、2024年10月には「みらい科学教育推進室」を設置し、教員研修や地域連携を含む科学教育の拠点として体制を整えてきました。大学・学校・研究機関・企業がつながり、専門家と協働しながら若い世代を支えるネットワークづくりに努めています。

社会には多様な職業があり、理系・文系という枠を越えて誰もが力を発揮できる可能性をもっています。幅広い職業を知ることは、「なぜ学ぶのか」「どのように生きたいのか」を考える大切なきっかけになります。今回のように、教育・研究・産業の現場から真摯なお話を伺えたことは、学びと社会のつながりを実感する貴重な経験になったことでしょう。

また、生徒の皆さんには、“目標は一つでなくてもよいし、途中で変わってもよい”ということを伝えたいと思います。学ぶ中で新しい興味が芽生え、進みたい道が広がっていくのは自然なことであり、未来を形づくる大切な成長の過程です。今回の出会いが、一歩踏み出す勇気や、学びへの意欲をさらに高めるきっかけとなれば幸いです。

本冊子が、多くの中高生、保護者、そして学校関係者の皆さまにとって、未来を考えるヒントとなることを願っております。

ご協力いただいた講師の皆さま、地域の学校関係者、大阪府教育庁ならびに各教育委員会、大阪大学をはじめとする関係機関の皆さまに、心より感謝申し上げます。

これからも「みらい科学教育推進室」を中心に、地域の皆さまとともに、科学を通して学びあう機会を創出し、未来を担う若い世代の成長を支えてまいります。

四天王寺大学
教育学部教授
みらい科学教育推進室長
佐藤 美子

会社(学校)名 吹田市立山手小学校 代表取締役(学長・校長) 佐々木 康雄

所属・お名前 西本 朱里

所在地 大阪府吹田市山手町2-15-43

TEL:06-6387-5791 FAX:06-6387-7642

1. 企業理念(建学の精神)

学校教育目標

- ・人を笑顔にするあいさつができる学校
- ・自分の思いを自分の言葉で伝える教室
- ・心身ともにたくましい子ども

2. 事業内容(企業・研究所・学校の仕事・ある一日など)

小学校教員のある一日

7:00 起床	13:50 5時間目
朝の準備	14:40 6時間目
8:00 出勤	16:00 会議
8:30 朝の会	17:00 テスト丸つけ
8:35 モジュール	翌日の準備
8:50 1時間目	18:00 退勤
9:45 2時間目	18:30 帰宅
10:30 業間休み	入浴・夕食
10:50 3時間目	20:00 自由時間
11:40 4時間目	23:00 就寝
12:25 給食	
13:10 昼休み	
13:30 そうじ	

4月にクラスみんなが安心して過ごせるように、
子どもたちが一言一句考えて安心ルール
(合言葉)をつくりました



【中高生のみなさんへのメッセージ】

皆さんは小学校のころの先生や思い出を覚えていますか？

小学校には1年生から6年生までの幅広い年齢の子どもたちがいて、成長を感じられる瞬間がたくさんあります。運動会などの行事での姿だけでなく、普段の授業での姿からも、子どもたちの「できた!」「がんばった!」の瞬間をたくさん見ることができ、子どもたちの人生の一部に関わることができているという実感をもつことができます。今、みなさんが中高生としてがんばっていることも、小学校教員にとっては喜びの1つです。

あの頃の先生たちがどんな風に働いていたのか、小学校教員の思いや生活について少しでも知っていただけたら嬉しいです。

参加者感想

防災教育を通して、子ども達に自分の命を守るために考える力を育てるという精神がとてもいいと思いました。また、小学生が理科が好きという事実に驚きました。小学校教員のやりがいは、子どもの成長を見られる、人生の一部に関われる、どんなスキルを役に立てて仕事ができるということがわかりました。

教員の仕事について、「いろんな経験を活かすことができる仕事」という点にとっても共感できました。

子供の成長を自分のように感じたり子供の疑問と一緒に解決したりするという話を聞いてこの職業を本当に楽しんでいるなと思いました。部活などこれまでの経験を生かせるところが良いところだなと感じました。

小学校教員は特に大変な職業だと思っていましたが、水泳の授業など、小学校教員だからこそできる体験があると感じました。

防災教育の中で津波てんでんこという言葉を知りました。他にも教師だからこそ、科学への興味を子供たちに膨らませたいという思いがとても伝わってきました。

自分が思う不思議と一緒に考えてくれる先生がいたら、きっとそれがきっかけでどんどん好きになると思います。小学校2年からなりたいと思った夢をかなえて、その持続力がすごいなって思いました。

小学生が一番理科好きが多いと聞いて、私も教員を目指しているのでとても興味を持ってました。小学校教員は子供の成長を感じやすく、自分事として成長がうれしいと聞いてとても興味を持ちました。

子供の人生の一部に関わり、子供の興味を膨らませることができるのはとても素晴らしい仕事だと感じました。今まで教員という仕事にあまり興味がなかったのですが、今回講師の先生のお話を聞かせて頂き、少し興味が湧きました。



学校名 東大阪市立^{くさか}孔舎衛中学校

代表取締役(学長・校長) 唐原 仁

所属・お名前 数学科・田部 慎之佑

所在地 大阪府東大阪市善根寺町1丁目6-1

TEL:072(987)6151 FAX:072(982)2492

1. 企業理念(建学の精神)

教育目標 「**励まし支え磨き合う、誇り高き生徒の育成**」

重点目標 ・人権と命を大切にする仲間づくり ・自ら学ぶ力を育てる、基礎学力の定着

・健全な生活習慣の確立

・安心できる環境を整え、開かれた学校づくり

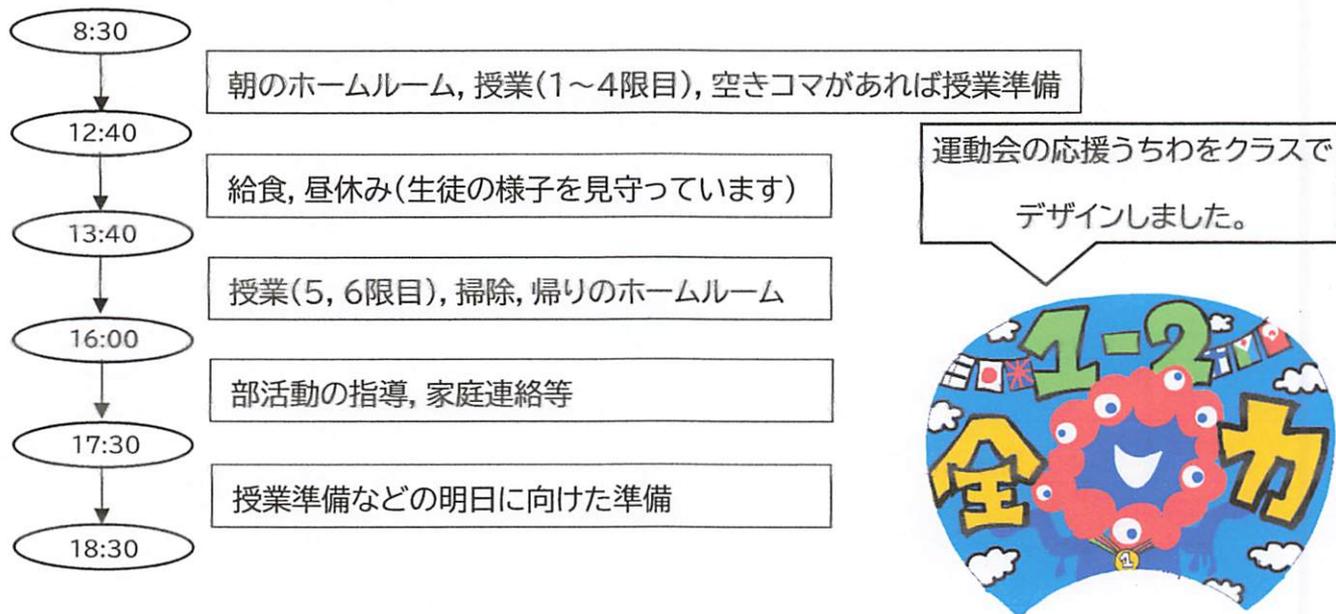
行動目標 ・くさか三か条「**時間・あいさつ・思いやり**」

めざす子ども像 ・「自分大好き 仲間大好き くさか大好き みんな大切」



2. 事業内容(企業・研究所・学校の仕事・ある一日など)

～ある一日の流れ(中学校教員)～



【中高生のみなさんへのメッセージ】

私は教員2年目として、この仕事の一番のやりがいは、子どもたちの「できる」瞬間に立ち会えることであると思います。皆さんも学校生活を送る中で、色々なことが少しずつできるようになっているのではないのでしょうか。その喜びあふれる瞬間に立ち会うことができる、「教員」はやりがいを感じられる仕事です。

さらに、中学校教員は、自分の専門教科や部活動を通じ、子どもたちと接していきます。「自分らしさ」を活かした、授業や指導から、子どもたちを成長させることができるという点も、魅力的であると思います。

また、子どもたちの成長を近くで見守り、自分自身も成長できる仕事でもあります。「誰かの未来に寄り添いたい」「より、自分らしさを活かしたい」というような思いを持っている人に、教員はとてもぴったりの選択であると思います。ぜひ、未来ある子どもたちを育てるために、あなたの可能性を活かし、教員として働いてみませんか。

参加者感想

小中高の免許を持っているのがすごくて、こんなに免許って持てるんだなと思いました。やりがいなどは僕はあまり感じたことがないけれど、もしやりがいを感じれば、自分も、なにが変わるんじゃないかなと思いました。

小学校と中学校の免許を両方持つことで、小学校から中学校へ上がった時のギャップをあまり感じさせないようにする教師もいることがわかった。

数学が苦手だったが数学教師になれたという話を聞いて、数学が得意な先生ばかりが数学教師になっているわけではないということに気づきました。苦手だったからこそ生徒のつまづいているところに気づけて良いなと思いました。

小中いきいき連携というものを初めて知ったのですが、とてもいい活動だなと思いました。数学が苦手だった経験を活かして数学教員になり、苦手な子に寄り添えるようになったという話に感銘を受けました。また、授業だけじゃわからないことを解説動画などを作っていることに驚きました。中学校数学教員のやりがいは、理解してくれた時や、成長を感じれた時、先生の期待に応えようとしてくれた時、生徒たちが様々な形で返してくれる時だとわかりました。

得意なことは精一杯、苦手なことにも向き合うことが大切だとおっしゃっていました。私とお二人の話を聞いて、これからはもっと自分の苦手なことにも向き合っ、向き合うことで苦手なことにも好きな部分を探してみようと思います。

一番心に残ったのはやりがいで、分かる瞬間と振り向く瞬間と成長した瞬間と返してくれる瞬間が子供たちから見れるということです。

自分が現役中学生なので、担任の先生や教科担当の先生方がどのように私たち生徒と向き合っているのかについてよく知ることができた。





指導教諭・3年学年主任・理科

大阪府理科コア・サイエンス・ティーチャー(CST)

倉田季子

1. 教師として大事にしていること

理科の授業を軸にし、生徒との関係を築いています。昨今は、優秀な授業動画も多く、家でも十分学習できます。では学校に来る意味は？

AI教師にはできない、生身の教師の仕事とは？？そんなことを考えながら、

「人として大事なこと」「失敗し、へこんだところから起き上がる力」「挑戦する力」を大事にしていきたいと考えています。



2. ある日・・・



週に1回の学年集会。いろいろな生徒に、発表してもらいます。3年間続けると、自分の意見をしっかりといえるようになりました。このように、生徒の成長を促す「しかけ」をたくさん作るようにしています。また、自分の意見を言える雰囲気作りも大事です。生徒と共に成長し続ける教師でありたいですね。



探究の時間。これからの社会において、自分で課題を見出し、解決していく力が必要です。「君が誰かを笑顔にする」をキーワードに課題解決に取り組みました。東大阪市のフォーラムで発表。クエストカップの全国大会に出場し、東京で発表しました。万博での活動にも招待され、外部とつながることができました。



理科の授業。理科の楽しさを中学生に伝えるためにはどうすればいいのか、日々奮闘中です。実験・観察を取り入れながら「わかった！」と目を輝かせる瞬間は、最高です。また、「なぜ？」を追求する力は、これからの社会において必要なものです。理科教師として実験を考えるのが面白いですよ。

【中高生のみなさんへのメッセージ】

「おもしろい」と思うことに出会っていますか？勉強でも、スポーツでも、熱中するからおもしろい。

学校の先生は、大変な面ばかりが言われますが、こんなに笑ったり、泣いたり、怒ったりできる職業は他にはありません。もう、いい歳なのに、体育祭で汗だくで叫んで、文化祭で感動で泣いて、バカな行動に本気で怒って、、、感情が大変です。ずっと青春してます。

参加者感想

10年後無くなる職業として教員も挙げられるがそんなことはないということがわかりました。そして、AIにはできない生徒のモチベーションをあげるということが教員のやりがいだということもわかりました。

私は、自分から誰かと関わるのが苦手です。ですが、講師の先生のお話を聴かせて頂き、人との繋がりや、外部の人々と関わるのが大切だということを再確認できました。先生のおっしゃっていたように、自分の「面白い」を大切にしながら、外部と関わっていけるように努力していきたいと思います。

教師の仕事を「生徒の成長のベクトルを良い方向に向けるガイド役」として説明して下さい、素敵な言い回しだと感じました。一番印象深かったのは、教師の仕事は何十年もたってから、その幸せを感じるものだということです。

教師は10年後AIが行うかもと言われているが、生徒が真っすぐに伸びていくわけではなく、生徒が道に迷ったりしたときに一緒に考えることができるのは人間である教師だけと聞きました。やっぱり教師が行事を白熱させることができたり、安心して頑張れるところを提供できたりするのは人間の良さがあるからこそだなと思いました。

AIによって教師の仕事がなくなるかもしれないと聞いて驚きました。大人になっても学校行事を楽しめて感動できるというところに興味をもちました。部活動などを通じて、子どもの成長を見られるというところにも興味を持ちました。

探究活動は経験済みでしたが、社会に出てからどのように良い影響を与えるのかについて知ることができ、今後の探究も諦めずやりとげることが意識したいと思います。

理科が一番好きです。生物とか地学が好きで、物理も好きです。理科が好きになった理由は、小さい時から科学館や博物館で実験をたくさん見て、そこから考えることが楽しかったからです。楽しい実験をたくさんしてくれるともっと考えようと思え、さらに理科が好きになるのでうれしいです。





学校名 大阪府立富田林高等学校

校長 上田 信雄

進路指導部 数学科 高倉 順信

所在地 大阪府富田林市谷川町4-30

TEL:0721(23)2281 FAX:0721(23)2204

1. 教育目標

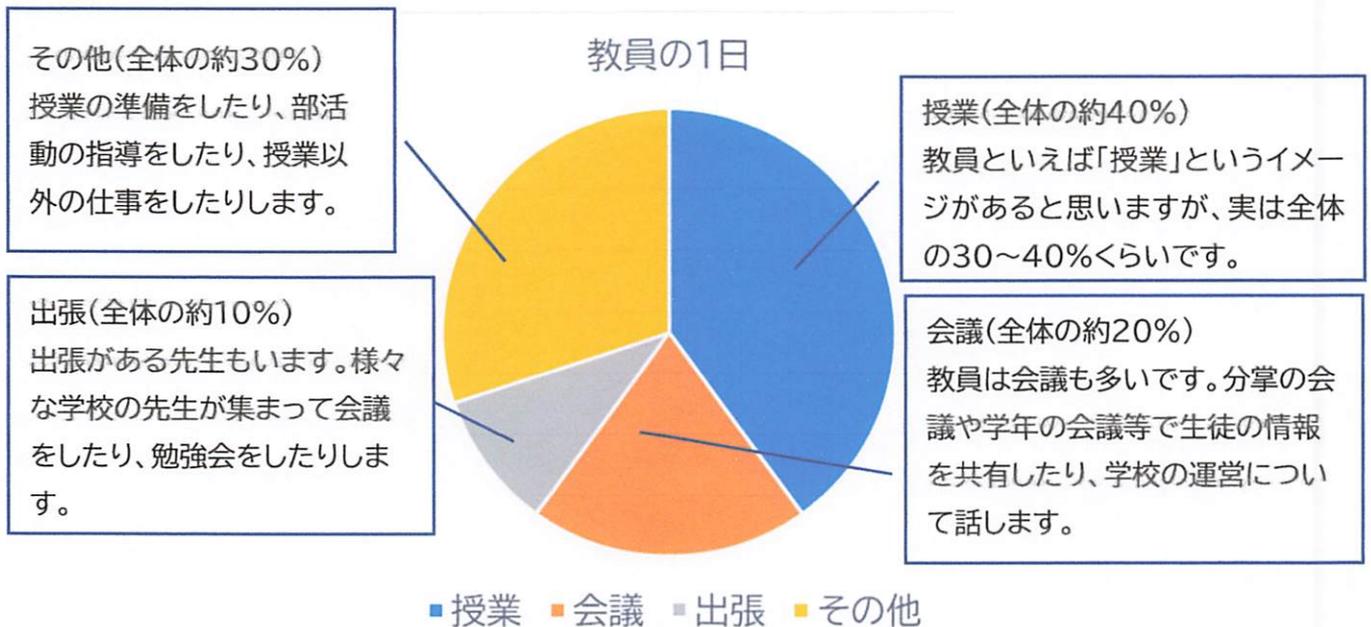
Try to Open a New world with Knowledge and Originality!

地域の方々から「とんこう」と親しまれる本校は、“Think Globally,act locally”

(地球的視野に立ち、地域や国のことを考えて行動しよう)をモットーに、

国際社会に貢献できる人材(グローバルリーダー)を育成することを目標にしています。

2. 学校の仕事(一例)



【中高生のみなさんへのメッセージ】

「人に教える」ってとても難しい、でもわかってもらえるとすごく楽しい!

そんな喜びが毎日味わえる職業です。

生徒の成長を共に感じられるやりがいや、生徒との一生のつながり(今でも卒業生が学校を訪れてくれます)を感じることができ、お金とはまた違った(もしかするとお金以上の)充実感を得られます。

すこしでも「教員」という仕事に興味のある方、ぜひともによりよい教育をめざしてがんばりましょう!

参加者感想

先生という立場で生徒に教えるだけでなく、同じ目標に立って疑問に向かうというのが凄いなと思いました。授業をしている姿しか普段私たちは見ていないけど、教員の方々は多方面から生徒をサポートしてくれているんだと感じました。

高等学校の数学はとても難しいと聞くので、先生も結構固くなっている感じの人かなと思っていたけれど、意外と優しい感じの方で、教員という職業のイメージが膨らみました。「？」の中に大きな学びが隠れていることが多く、自分自身や生徒の「？」に向き合い続けるのが教員だということもわかりました。好きなことを極めることができるのも教員で、極めることで生徒が喜ぶということがやりがいたと知りました。

話を聞いて、数学の公式について、「なんでこうするのだろう」という疑問がわいてきた。「好き」を極めると人に喜んでもらえるとのことなので、これから少しずつ理数系科目を極めたいと思います。わからないことも、あとで確認しようと思って結局そのままということも少なからずありますが、これからは少し時間を取ってわからないところをしっかりと考えながら理解できるようになりたいです。

生徒にどう教えたらいいか考え方をとても悩んだり、授業を失敗したと思うこともあるという話や担当教科を毎日勉強しているということから、教師は真剣に生徒のために「教える」ということを考えて日々努力してくれているんだなと思いました。

AI はコンスタントに情報を与えてくれるのに対して、教師は生徒と共に成長していくものだとわかりました。ビジョンを語り、人間をモチベートしていくことが AI にできなくて人にできることに心を打たれました。先生のやりがいは、行事や探究活動やクラブ活動など、生徒と共に体を動かしたり、活動したりすることだとわかりました。教師は単に勉強を教えるだけでなく、様々な働きかけを作って、生徒に楽しんでもらうことが大切だと思いました。

「教える」ことに悩んだり、難しい仕事だけど好きなことを究めると人が喜んでくれるというやりがいが多いというのに興味をもちました。授業が全体の 30~40%くらいしかないことに驚きました。



学校名 大阪府立貝塚高等学校

校長 川端 裕子

教諭 ・ 角谷 萌茄

所在地 大阪府貝塚市畠中1丁目1-1

TEL:072(423)1401 FAX:072(432)5271

1. 生物の面白さ

- ・ 生物を知るとは自分自身を知ることにつながる
- ・ 学んだ内容がすぐに実感することができる

2. ある1日の内容

7:15 保育園に子どもを送る

8:40 出勤・授業準備

授業

課題チェック・プリント作成

実験準備

昼休み

昼食・生徒対応

授業

職員室当番

放課後

生徒対応・会議

15:50 退勤

17:30 保育園に子どもをお迎え



【実験準備】

- ・ 実験内容を考える
- ・ 予備実験
- ・ プリント作成
- ・ 実験日程
- ・ 実験依頼書作成
- ・ 実験材料買い出し、発注
- ・ 実験室での器具準備



【中高生のみなさんへのメッセージ】

理科教員としてのやりがいを感じる時はたくさんあります。実験準備は大変なこともありますが、実験をとおして生徒が「なるほど!」と腑に落ちた表情をした時、新たな気付きや疑問をきっかけに、学習に没頭する姿が見られる時です。そして、何より自分の生活と学習内容が結びついて面白いと科学に関心をもち、その子の中に学びが生まれる時です。ソサエティ5.0時代だからこそ、AIの活用やインターネットなどの情報を集めるだけでなく、自分で確かめる力が必要と考えます。理科の授業を通して、一人ひとりが「なぜそうなるのか」を自分で考え、確かめる力を高めることができます。未来社会では正解のない問題がたくさん出てきます。実験を通して「試行錯誤する」「新しい方法を考える」という経験が、その基盤になると考えます。

みなさんがどのような進路を決断し、歩いていくかは自分自身にかかっています。みなさんの「なぜ?」がたくさんの可能性を秘めていることを忘れずに、いろんな視野をもって興味関心を広げていってください。

参加者感想

生物を知ること自分自身も知ることができるということに驚きました。また、生徒の生活に関わることも教員の仕事だとわかりました。疑問が湧いた時に生徒の成長が感じられて、それがやりがいだということもわかりました。

私も生物が大好きです。講師の先生のお話の中には、共感できる部分が沢山ありました。ですが、生物を知ることが自分や家族を知ることにつながるというのは、私の認識の中になかったので、聞いてとてもよかったです。

中学生の頃を振り返ると、理科は実験がいつも楽しみだったことを思い出しました。今日のお話を聞いて、私が実験を楽しんでいたのは、授業外で先生が様々なことを考え準備してくださっていたからなんだとわかりました。

私も生物が好きなので、生物について教えることができる生物教員にとっても興味を持ちました。授業の準備や実験準備でやらなければならないことがこんなにたくさんあることを初めて知りました。

いつもの実験の裏の先生の苦勞を知れました。毎回実験を楽しんでいて、定着度も高くなると感じているので、ぜひこれからも好奇心をくすぐるような実験をして欲しいです。

自分の「？」と生徒の「？」に向かい続けるのが教員ということがわかりました。好きなことを究めることで生徒が成長していくから、やりがいを感じやすいことがわかりました。先生の仕事は教えるだけでなく、会議や部活動、出張などいろいろな役目があるとわかりました。教員はブラックではなく、ライフ・ワーク・バランスが良くなっていることがわかりました。

実験がスムーズに動いている裏で、先生がこんなに動いているとは知りませんでした。買い物に行っているのは先生だなんて、思いもしませんでした。講師の先生も実験を大切にされていて、とても良いなと思いました。失敗してもそれも成長だと考えるのはとても素敵だなと思いました。



エネルギー・環境領域 電池技術研究部門 分子応用エネルギーデバイス研究グループ 福岡早紀

大阪府池田市緑丘1丁目8番3号 産総研関西センター TEL:072-751-9601(代表)

1. 産総研ビジョン「ともに挑む。つぎを創る。」

価値観:強い個の発揮と協働を通じた総合力で、

多様な価値を創りだすことを大切にします。

使命:世界水準の研究のみならず、社会課題の掘り起こし・

施策提言・社会実装・知的基盤整備などあらゆる活動を

これまでの産総研の枠を超えて推しすすめます。

文化:志ある多様な人材が集い、互いを尊重しながら、

ともに挑戦し成長する文化を育みます。



産総研関西センター(大阪府池田市)

2. 事業内容 ①「産総研(関西センター)での仕事内容のご紹介」

皆さんは、産業技術総合研究所(産総研)を知っていますか?産総研は、日本に3つしかない特定国立研究開発法人の1つで、全国12か所(北海道、東北、福島、柏、つくば、臨海副都心、中部、北陸、関西、中国、四国、九州)の拠点で、2000人以上の研究者が、くらしや産業を支える幅広い研究を行っています(国内最大級)。

産総研関西センターは、1918年創立の大阪工業試験所を前身とし、大阪府内などの研究拠点を池田市に集約して、2001年に設立されました。

②「産総研関西センターではどんな研究をしているの?」

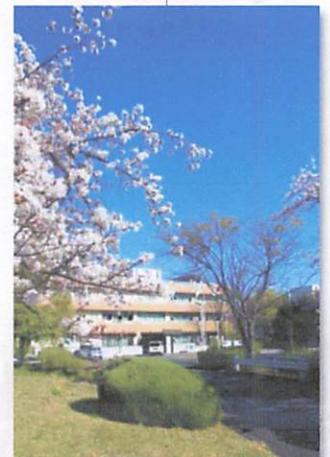
「電池技術」、「バイオ高分子・医療支援」、「生活素材」の3つの分野を中心に、最先端の研究を行っています。代表的な発明品として、飛行機やテニスラケットなどに使われている『炭素繊維』、液晶ディスプレイに欠かせない『透明導電膜』などがあり、皆さんの身近なところでお役に立っています。

③「研究者の仕事内容は?」

皆さんは、「研究者」と聞いて、どんな人を思い浮かべますか?

「一人で部屋にこもって、ずっと考えている人」と思うかもしれませんが。

しかし実際には、研究は一人ではできません。私たちは、研究所の仲間や、企業・大学の人たちとたくさん話し合いながら、社会の問題を解決する為の技術を考え、協力して研究を進めています。国のプロジェクトで100人以上の人と研究を進めることもありますし、国内外での学会発表や、英語で全世界に向けて論文発表も行います。色々な専門家と力を合わせることで、これまでにない新しいアイデアや技術が生まれます。その成果が、皆さんの生活に役立つことこそが、私たち研究者の一番のよろこびです。

社会・街・暮らしへ、
技術の架け橋

【中高生のみなさんへのメッセージ】

皆さんの夢は何ですか。明確な夢がある人、どうしようか悩んでいる人、色んな人がいると思います。

私は昔から理系が得意だったわけではなく、むしろ苦手でした。

しかし、環境問題に貢献できる仕事がしたいと思い、理系に進んで、今は研究者として働いています。

好きなことを究めるのも良いですし、苦手だなど思う事でも、続けることがきっとあなたを支えます。

気になることがあれば、今日のセミナー以降でも、いつでも気軽に質問してください!

産総研関西センターでは、一般公開『研究、論より体験。』が、11/8(土)に行われます。研究室見学や、研究体験、理系に進んだきっかけのポスター展示など様々な企画がありますのでぜひお越し下さい!

参加者感想

今回のこの説明を受けるまでは産業技術や技術開発についてイメージがあまり湧かなかったけれど、日本の研究を支える「縁の下の力持ち」だと知って、さらに未来のイメージが湧きました。

研究員は、見えないところで社会を支える「縁の下の力持ち」です。また、研究職は1人でやるのではなく周りとの協力していくのが大事だということがわかりました。裁量労働制によって、時間を自由に決められることができ、とてもいいなと感じました。

私は将来、医療関連の研究職に就きたいと思っているので、今回お話を聞いてとてもよかったです。研究では、協力することや理由や原因を考えることが大切であることを学ばせて頂きました。講師の先生は「困難な状況を楽しむ」とおっしゃっていました。私も以前からそうしたいと思っているのですが、なかなか難しいです。でも、やはり研究すると行き詰まることも多々あると思うので、そうなれるようになりたいです。

労働時間が自由に決められるところが良いと思いました。その中でやりたい研究を周りとの協力し合って行い、自分にあったやり方を発見して結果をだして行って、困難も楽しめるようにすることが大切だなと思いました。

どのような内容のお仕事をされているのかがよくわかりました。研究所では一つの内容に対して研究者の方が研究しているのだと思っていたので、実際は多くの企業や分野の人々と協力することで研究が成り立っているのだと知り、驚きました。

研究職は裁量労働制を取り入れているため、就業時間を自由に決められることがわかりました。日本を支える縁の下の力持ち的な仕事だということが心に残りました。広い分野で研究しているので、比較的どんな人でも研究できることがわかりました。ロボットを活用することで、人々の悩みの解決に大きく関わっていくことがわかりました。

自分の好きな事に向けてとても行動力がある方だなと感じました。私は学部をどこにしようかと悩んでいるので、講師の先生は転学部をしようと決めていてとってもかっこいいなと思いました。とっても前向きな方でとてもいいなと思いました。



会社名 アストラゼネカ株式会社 代表取締役 堀井 貴史

所属・お名前 マーケティング部 瀬野 裕子

所在地 大阪府大阪市北区大深町3-1

TEL:06-4802-3600

1. 企業理念(建学の精神)

We push the boundaries of science to deliver life-changing medicines.

サイエンスの限界に挑み、患者さんの人生を変える医薬品を届ける

私たちは、革新的新薬の創出という研究開発におけるイノベーションのみならず、その他のあらゆる分野で行うすべての活動におけるイノベーションを通じてこのミッションを全うしていきたいと考えています。能力と士気の高い社員、新しい働き方、さらに、医療従事者の方々が必要とされる当社製品に関する質の高い情報提供におけるテクノロジーの駆使などを通じて、日本の患者さんの健康に最も価値ある貢献を果たすことが出来ると確信しています。

2. 事業内容(企業・研究所・学校の仕事・ある一日など)

お薬ができる道のりは非常に長く、研究、開発、メディカルアフェアーズ、ファーマコビジランス、マーケティング、医薬品情報提供、生産、物流…、と携わる仕事の職種も多岐にわたります。さらに製薬会社としては、社会・行政・患者さん、と繋がりより良い仕事をするための仕事もあり、数えきれない人と部署が協力し合っています。

私はアストラゼネカでは、マーケティングの仕事に従事しています。“market (市場、世の中)” + “ing (する、働く)”、すなわち、病気が存在する世の中において、お薬をどう届けたらきちんと患者さんに届くのか、世の中を観察して「戦略」を考え、実行する部分を担っています。常に少しずつ変化し続けている世の中をきちんと捉え、戦略を立て、実行してはその結果を考察して、活動を最適化していきます。医師をはじめとする医療関係者の方に情報をお届けし、協力体制を築くのはもちろんのこと、患者さんに対して情報をお届けするためのパンフレットやウェブサイト等を通じたデジタルコミュニケーションもデザインします。

【中高生のみなさんへのメッセージ】

興味の対象が何かしらある方は、ご自身の興味が満たされるような、さらに好奇心が刺激されるような挑戦をしてみてください。興味がぼんやりしている方は、ヒト・モノとの幅広い出会いを通してびびっと来るものが現れるかもしれません。そんな出会いにアンテナを立てて日々過ごしてほしいです。何かに感動する・惹き付けられることに年齢制限はないものの、感化されやすい人生のタイミングはあるように感じています。今ならではの強みも悩みも振り返ると貴重です、ぜひ存分に味わってください。

加えて、自分の心が動いたと思ったとき、もやもやを感じたとき、ちょっとばかり立ち止まり、平時との”違い”に思いを巡らせてみることをお勧めします。誰かに話したり文字にしてみると、見えてきやすいかもしれません。Instant (瞬時) に誰かと繋がれたり連絡できたり、情報が得られたり発信できたりする世の中ですが、人間の思考という道のりは、じっくりゆっくりの方が味わい深く、寄り道あってこそその気づきや悟りのように思います。人間しかできないことも是非楽しんでください。

参加者感想

マーケティングという仕事の商品を通して、世の中に価値を創造することだとわかりました。また、会社で働く利点として、たくさん人が集まることで独りではできないことができるということと、環境や社会に恩返し、恩送りができるということがあるとわかりました。

やはり協力することは大事なのだと感じました。そうすることで独りではできない大きなことができるのですね。それから働くこと、生きること、遊ぶこと、勉強することが全てイコールで繋がっているとは思っていませんでした。新たに知れてよかったです。これからは全て繋がっていることを意識しながら、様々な経験をしっかりと味わっていこうと思います。

薬品会社の中にも「研究」「臨床試験」「生産販売」「安全情報収集提供」など様々な仕事があり、チームがあることを丁寧にお話いただき、とてもわかりやすかったです。

多くの人に支えられてできるという仕事だということを知れて、信頼が大切だということがわかりました。商品を通して世の中に価値を創造する仕事で、日々面白いと思ったところが発見できるということが魅力だと感じました。

ひとつの会社で一生身を置くというイメージで考えていましたが、今は転職をする人はたくさんいるんだなと思いました。行動力のある人は楽しく生きていけるんだなと感じました。そしてその楽しいという原因も考えているとおっしゃったので、いつか自分も実践してみたいなと思いました。

会社が3社目と聞いてビックリしました。私の周りの大人(両親やおじ、おば)はみんなずっと同じところで働いていて、そういう生き方もあるのかと目からウロコが落ちる思いでした。お薬は目に見えて人を救う仕事だから、すごくやりがいがあるだろうけど、その分難しいんだろうなと思いました。

これからの時代、転職が前向きに考えられるという情報はこれから進路を考えていく中でより幅広く考えられることにつながると思うので、大切なことも教えて下さりありがとうございました。



会社名 株式会社 島津製作所 代表取締役社長 山本 靖則

所属・名前 分析計測事業部・松本 龍之介 所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1番地

TEL:075(823)1111

島津製作所とは



島津製作所は、1875年に創業した日本の科学機器メーカーで、今年で150周年を迎えます。「人と地球の健康」への願いを実現する、という経営理念のもと、新たな価値の想像に挑戦し続けています。

社是

「科学技術で社会に貢献する」

取り組んでいること

島津製作所の事業

人と地球の健康や安全を支える4つの主要事業を展開しています。



計測機器事業



医用機器事業



産業機器事業



航空機器事業



ノーベル賞受賞者が在籍

2002年に、弊社の田中耕一氏が生体高分子の質量分析のための革新的なイオン化法の開発を評価され、ノーベル化学賞を受賞しました。田中耕一氏は、今でも、弊社の一員として活躍しています。



NHK 総合「魔改造の夜」に出演

一流の技術者たちがアイデアとテクニックを競うNHKの人気番組「魔改造の夜」にS津製作所として出演しました。第一夜の「恐竜ちゃん」缶蹴りでは見事優勝し、弊社の技術力の高さが示されました！



魔砲恐竜カノンちゃん



ばたばた「カサフライちゃん」

バサバサ「カサフライさん」

【中高生のみなさんへのメッセージ】

科学や技術の進歩は、私たちの生活を豊かにし、新しい可能性を切り開きます。興味を持ち、学び続ける姿勢を大切にしてください。今回の説明会で、少しでも島津製作所に興味を持ってもらえたら嬉しいです。ちょっとしたことでも気になることがあったら、是非質問してください！

参加者感想

開発業者はあまり知りませんでしたが、自分の仕事の成果で感謝されることは、私にとって一番うれしいことですので、少し将来の夢の視野に入れて考えていきたいと思いました。

研究開発は「絶対に成功させる」という信念の元、諦めずに続けるその心構えが重要なのだとわかりました。

ソフトウェアの開発は、装置と人とをつなげる大事な役割であることがわかりました。また、難しいことや複雑なことを簡単なことやシンプルなことにする仕事であることもわかりました。やりがいは、作ったソフトウェアで「ありがとう」と言われることだと知りました。

やはり、自分の成果によってお礼を言われることは、働く原動力になるものなのですね。私も自分の働きによってお礼を言ってもらえるような人になりたいです。それから、難しいことや複雑なことを簡単にシンプルにすることは、私にはとても難しいように感じました。どのようにすれば、難しいことを簡単にしやすいのでしょうか。

自分は人のために役に立ちたいと思ったことがなかったから、その気持ちが格好いなと思いました。大人になったらやりたいことはあるけど、今悩んでいて、自分が自分のためにだけやりたい夢ではダメだなと思い直しました。

難しいことを簡単にしたり、科学技術で社会に貢献できたりするところが、人の役に立てて良いなと思いました。たくさん失敗という経験を積み重ね、それを生かして研究することが大切だと思いました。

科学技術で社会に貢献することができる、すごい会社だと思いました。

研究職と開発職の違いは何かよく分からなくなりました。家に帰ったら調べてみます。

「環境や生活などの精密なことを測れます」と言われたときは、すごいなと感心しました。ノーベル賞を受賞している会社の話を聞いて、すごく貴重な体験でした。



1. 企業理念 (建学の精神)



2. 事業内容 (企業・研究所・学校の仕事・ある一日など)

▼おなじみ商品はシェアNo.1商品が多い!

▼まさかの、海外売上比率60%以上!!

▼新規事業① ZENB(ゼンプ)

▼新規事業② Fibee(ファイビー)

超特急とコラボしたよ★

【中高生のみなさんへのメッセージ】

★仕事と自分を研究しよう★

色んな仕事を知ってみると同時に、自分の事も、「考える」「やってみる」を繰り返して発見してください★
 例えば、強み・弱み、好きな事・嫌いな事、心地が良い事・悪い事、ありたい姿・ありたくない姿など。
 案外、自分の事ってわかってないもので、大人である私も自己分析の日々です(早くやっときゃ良かった!)。
 日々の研究によって、あなただけの居場所が見つかることを願っています!

Mizkanは、理系人材の方が職種の選択肢が多いよ★Fibee(ファイビー)やZENBブランドも試してみてね♪

参加者感想

Mizkan といえば味ぼんなどの調味料を作っている会社、としか思っていなかったけど、実際に働いている人の話を聞いて、調味料を作るためにどのような工夫をしているのか、計画はどのように立てているのかなど、色々新しいことを知ることができました。

買う身になって商品を作っているというところが、買う人からの目線でも商品について考えているので良いと思いました。食糧問題に貢献できるという話から、ただ商品を作るだけでなくたくさんのことをしているというのが魅力に感じました。

海外の売り上げが 60%もあり、海外の人と交流することもあることが分かりました。Mizkan での仕事は色々分かれていて、自分の得意な分野で仕事ができるのでいいなと思った。普段使っている商品の会社だったので、会社のことを色々知れてよかったです。

国内の社員数が 2000 人しかいないのは驚きました。この人数で売り上げが高く、すごいなと思いました。1 年ずつくらいで部署が変わっていて、仕事覚えがとてもいい人なんだなと思いました。物理や化学など高校内容も使うとおっしゃっていて、とても大変だなと思いました。

商品開発に関する仕事には少し興味があったので、詳しく知ることができてよかったです。

一つの会社の部署にも理系出身者にしか就けない部署がある事が分かり、理系選択は人生の幅を広げるということを再認識できました。

理系人材の方が職種の選択肢が多いと言うのは初耳で、理系か文系か悩んでいたのが理系にしようと思いました。

地球を救うって子供の頃から思ってたことがすごいなと思いました。自分はそんな風に考えたことないです。それ位の強い思いがないと研究者にはなれないのかなと思いました。



あとがき

本冊子を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

この冊子は、四天王寺大学みらい科学教育推進室が取り組んでいる「スマート・サイエンス・セミナー」の活動の一環として開催された、「合同職業紹介・交流会」の様子をまとめたものです。当日の職業紹介の内容とともに、参加してくれた生徒の皆さんの生き生きとした感想を紹介しています。

2024年度に本学教育学部に理科選修が設置され、理数教育への想いがますます高まる中で行われた今回のセミナー。会場には、日々学校で理科の楽しさを伝えている先生方や、第一線で活躍する研究所・企業の方々が集まってくださいました。生徒の皆さんの感想を読み返すと、プロフェッショナルのリアルな言葉に触れたことで、「理系」という選択肢が、遠い世界のことではなく「自分の未来へと続くワクワクするフィールド」だと感じてもらえたことが伝わってきました。

「理系に進むのは難しいかも…」という不安が、対話を通じて「自分もやってみたい！」という期待に変わっていく。そんな瑞々しい心の変化こそが、この活動の何よりの宝物です。この交流会での出会いが、皆さんが自分らしい未来を描くときの、小さなしるべになることを願ってやみません。

最後になりましたが、お忙しい中ご協力いただいた講師の皆さまをはじめとする関係機関の皆さま、そして、未来への好奇心を持って参加してくれた中高生の皆さんに、心より御礼申し上げます。

これからも、生徒の皆さんの「知りたい」「やってみたい」という気持ちに寄り添い、共に未来を育む活動を続けてまいります。また次の活動でお会いできることを、楽しみにしています。

四天王寺大学
短期大学部ライフデザイン学科教授
谷口美佳

8月5日講演会「職業紹介 & 交流会」の当日の様子



発行所:四天王寺大学みらい科学教育推進室
所在地:〒 583-8501 大阪府羽曳野市学園前 3 丁目 2-1
問い合わせ:四天王寺大学 地域連携・研究推進センター
TRL:072-956-3345 FAX:072-956-9960
E-mail:chiki_kenkyu@shitennoji.ac.jp